



# 議会だより よつかいどう



発行：四街道市議会  
TEL 043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会  
FAX 043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地  
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp

市民の皆さまとともに 200号



## 主な内容

- 決算審査特別委員会審査概要 ..... 2～3
- 主な議案の概要及び委員会審査概要 ..... 4～8
- 市民からの四街道市議会議員に対する告発内容に関する調査特別委員会中間報告 ..... 9
- 議決結果一覧 ..... 10
- 代表質問・一般質問 ..... 11～15
- 委員会視察レポート ... 16

## 表紙写真募集！

議会だよりでは、市民の皆さまに応募いただいた写真を表紙に掲載いたします。詳しい応募要領は市議会ホームページをご覧ください。

## ■次回の定例会は11月24日～12月17日の予定です

会期日程案は16ページをご覧ください。  
本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます。  
(生中継と録画中継があります)  
市議会ホームページアドレス

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/>



## 決算審査特別委員会審査概要

令和元年度一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算、水道事業会計決算、下水道事業会計決算（議案第12号から第17号まで）は、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月17日・18日、23日・24日の4日間にわたり審査を行いました。

## 決算規模

令和元年度の一般会計決算額は、歳入が前年度比3.6%増の281億7674万4千円、歳出が2.2%増の267億5526万4千円と歳入歳出ともに増加となった。

歳入は、市税が固定資産税の増により1億8531万1千円の増、国庫支出金及び県支出金が幼児教育・保育の無償化等の影響により7億1965万3千円の増となり、歳入全体でも増加となった。

歳出は、民生費で、子育てのための施設等利用給付事業や障害者自立支援給付事業などの増により、6億7233万6千円の増、教育費で、教育ネットワーク基盤整備事業、千代田中学校大規模改造事業などの増により、

3億3648万4千円の増となり、歳出全体でも増加となった。

これらにより、実質収支額が、2億5253万6千円増の11億8880万3千円となった。財政調整基金は、積立金4億8千万円に対し、取崩額が6億7881万8千円と、積立額を上回ったが、実質単年度収支は5371万8千円と、昨年度に引き続き黒字となった。

特別会計決算額は、3会計の合計で、歳入が前年度比2.0%増の166億1886万2千円、歳出が2.3%増の162億5847万9千円となり、実質収支額は3億5940万2千円となった。

## 一般会計歳入の状況

一般会計歳入は、前年度に比



四街道市議会議場（9月24日）

べ、市税は、1億8531万1千円、1.6%増の115億3007万2千円となり、このうち市民税個人は5593万4千円、1.0%減の56億847万5千円、市民税法人は4393万3千円、9.5%増の5億789万7千円となった。また、固定資産税は、1億124万8千円、2.8%増の40億5297万8千円となった。

地方消費税交付金は4064万4千円、2.7%減の14億4250万円となり、このうち一般財源分は2254万5千円、2.7%減の7億9960万7千

## 令和元年度 会計別決算総括表

（単位：千円）

区 分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	
一般会計	28,176,744	26,755,264	1,421,480	232,677	1,188,803	
特別会計	国民健康保険	8,976,924	8,887,867	89,058	980	88,078
	介護保険	6,243,484	5,975,568	267,916	-	267,916
	後期高齢者医療	1,398,453	1,395,045	3,408	-	3,408
	小計	16,618,862	16,258,479	360,382	980	359,402
合計	44,795,605	43,013,743	1,781,862	233,657	1,548,205	

\*各項目の数値は、単位未満の端数を四捨五入しています。そのため、合計と内訳の数値が一致しないことがあります。

円、社会保障財源分は1809万9千円、2.7%減の6億4289万3千円となった。

地方交付税は、1億4041万2千円、5.6%増の26億5352万2千円となった。このうち普通交付税は、9186万2千円、4.1%増の23億4132万7千円、特別交付税は、4855万円、18.4%増の3億1219万5千円となった。

国庫支出金は、幼児教育・保育の無償化に伴い、子どものための教育・保育給付費負担金及び子育てのための施設等利用給付費負担金が増加したことなどにより、4億1632万7千円、10.1%増の45億3582万6千円となった。

財産収入は、市有地売却代が1億9162万8千円減少したことなどにより、1億9137万3千円、87.3%減の2788万5千円となった。

市債は、臨時財政対策債が1億5320万円減少したことなどにより、総額で3億270万円、15.4%減の16億5930万円となった。



### 一般会計歳出の状況

一般会計歳出の目的別では、総務費が一般管理費の総合事務組合負担金1億5109万9千円の減少などにより、前年度比2億1818万9千円、6.3%減の32億3884万3千円となった。

民生費は、児童福祉総務費の子育てのための施設等利用給付費2億2659万1千円の増加などにより、前年度比6億7233万6千円、5.8%増の121億6986万7千円となり、13年連続の増加となった。

衛生費は、施設建設費の岡区自治会館新築工事負担金2439万5千円の増加などにより、前年度比1億3370万3千円、5.8%増の24億4411万1千円となった。

土木費は、街路事業費の道路新設改良工事（3.3.1号山梨白井線整備事業）3億148万8千円の減少などにより、前年度比4億624万4千円、18.8%減の17億5235万3千円となった。

### 主な質疑と答弁内容

教育費は、教育研究指導費の小・中学校の児童生徒用パソコン等の購入費1億8144万7千円の増加などにより、前年度比3億3648万4千円、12.2%増の30億9553万6千円となった。

**質** 令和元年度における行財政改革の実施状況と目標達成状況における組織機構の見直しと職員数の適正化について伺う。

**答** 組織機構の見直しにおいては、令和元年度の取り組みとして、次長職の廃止、職務の級の見直し及び係の統合の実施により、1425万8千円の行革効果額となった。また、職員数の適正化においては、令和元年度の取り組みとして、定年退職者の半数について、新規採用職員に代わり、フルタイム勤務の再任用職員を採用することで、短時間勤務の再任用職員を削減し、1789万2千円の行革効果額となった。

（委員長 高橋 絹子記）

### 令和元年度 水道事業会計決算

（単位：千円）

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
予算額	1,894,714	1,631,341	12,005	1,581,831
決算額	1,852,616	1,539,033	12,218	1,138,362

\*資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされています。

### 令和元年度 下水道事業会計決算

（単位：千円）

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
予算額	2,040,306	2,012,726	435,653	795,709
決算額	1,936,431	1,927,934	177,127	533,203

\*資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされています。

## 主な議案の概要及び委員会審査概要

第3回（9月）定例会では、条例の制定及び改正、令和2年度一般会計・特別会計補正予算、令和元年度決算の認定など21件の議案と発議案1件、請願2件の審議や議決が行われました。主な議案と委員会での審査内容は次のとおりです。

（議決結果一覧は10ページに掲載）

### 議員発議

発議案第4号 核兵器禁止条約に署名・批准するよう求める意見書の提出について（否決）

【提案理由】核兵器禁止条約が3年前に国連で圧倒的多数で採択されている。この禁止条約は、賛同署名した81カ国のうち、50カ国の国内批准によって、「発効」という手順になっている。現在44カ国が批准してきている。

NHKの世論調査でも禁止条約に参加すべきと答えている人は66%。唯一の被爆国として、賛同署名・批准することを、日本政府に求めるものである。

核兵器禁止条約に署名・批准するよう求める意見書（案）

本年、広島・長崎は被爆から75年を迎えました。

高齢化した被爆者は、自らの悲惨な体験から「後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きていくうちに何としても核兵器のない世界を実現したい」との思いを強くしています。これまで世界各地のNGOや草根の市民運動と連帯し、核兵器を禁止し廃絶する条件を求めて「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名（ヒバクシャ国際署名）」に取り組み続けています。「ヒバクシャ国際署名」には、その思いを共有する地方自治体の7割以上の首長が署名し、国内でも1千万人を超える人々が署名に応じています。

核兵器禁止条約の制定・発効は被爆者の命をかけた悲願です。2017年7月、その願いが「核兵器禁止条約」として国連加盟国の圧倒的多数の賛成により採択されました。2020年3月には、81カ国が条約に署名し、この条約の発効に必要な批准50カ国のうち44カ国が批准しております。条約の発効は時間の問題です。

唯一の原爆被爆国である日本の政府が「核兵器禁止条約」に批准することは、核保有国や非核国に対して大きな影響力を持つと考えます。

昨年12月のNHKの世論調査でも、66%が日本も核兵器禁止条約に参加すべきと答えています。広島・長崎の被爆者の思いや核廃絶を願う国際的な世論に背を向けることはやめるべきです。

よって本市議会は国に対し一刻も早く核兵器禁止条約に署名・批准するよう強く求めるものです。

以上、自治法第99条の規定により意見書を提出します。



### 総務

議案第7号 令和2年度四街道市一般会計補正予算（第4号）（可決）

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ13億3710万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ395億2708万6千円とするものである。

繰越明許費については、地域災害対策事業ほか3件を設定するものである。

債務負担行為については、会議録調製委託ほか48件を追加す



るものである。  
 地方債については、移動図書館車整備事業を追加し、防災行政無線整備事業ほか2件の限度額を変更するものである。

〔総務常任委員会所管事項〕

**質** 地域災害対策事業の防災行政無線改修委託料2億9342万5千円について、新たな防災行政無線システムを導入することだが、詳細な説明を。

**答** 現在使用している防災行政無線は、機器の不具合など老朽化が進んでおり、災害時における庁舎の被害程度によっては、使用できなくなることが考えられることから、インターネット環境があれば、どこからでも情報発信が可能な、携帯電話網を活用した可搬性にすぐれたIP無線システムを導入するものである。



**質** 消防車両整備事業の災害対応特殊救急自動車購入費3905万円について、国から補助金が交付されることだが、その内訳について説明を。

**答** 緊急消防援助隊設備整備費補助金から補助基準額3113万8千円の2分の1に当たる1556万8千円、及び、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金から681万4千円の交付を見込んでいる。

**質** 庁舎等維持管理事業の文化センター使用料1078万4千円について、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として分散勤務を実施する際に、文化センターの会議室を使用するための費用のことだが、積算の内訳は。

**答** 文化センター会館棟3階の7室を、朝9時から夜9時まで使用する費用として、1日当たり5万9250円を6カ月分見込んだものである。



四街道市文化センター

**質** グリーンズローモビリティ推進事業の車両購入費1980万円について、車両1台分の費用とのことだが、金額の内訳について説明を。

**答** 車体価格約1600万円に加え、オプションとしてバッテリー代が約100万円、その他、レインガード・車椅子スロープ・車内電源・車内アナウンス・車両のラッピング等の費用を含んだ金額である。

**質** 窓口証明交付事業の住民基本台帳システム改修委託料217万8千円について、詳細な説明を。

**答** 国外転出者による、マイナンバーカード利用のため、住民基本台帳システムに戸籍附票システムとの連携を図る機能を追加するための費用である。

都市環境

議案第1号 四街道市生産緑地地区の区域の規模に関する条例の制定について〔可決〕

〔提案理由〕 本案は、生産緑地法の一部改正に伴い、生産緑地地区の区域の規模に関する必要な事項を定めるため提案するものである。

**質** 生産緑地地区が今後どのくらい必要か、市の見解は。

**答** 生産緑地制度については、令和4年に特定生産緑地という新たな制度がスタートする。これまで30年間の営農が義務付けられていたが、期間満了による一斉解除が懸念されており、生産緑地を既成市街地内に残していくため、今回、面積の引き下げを行い、緑を保全していく観点からこの条例を制定するものである。

今後は、特定生産緑地の状況を見極めながら、検討していきたいと考えている。

**質** 面積を引き下げた生産緑地について、制限を受ける年数は何年か。

**答** 更新後の期間が10年となる特定生産緑地と混同しやすいが、面積の引き下げは、特定生産緑地ではなく生産緑地についてであるので、今回、300㎡に引き下げられたことにより、新たに生産緑地指定を受けた方については、制限を受ける年数は30年となる。



議案第7号 令和2年度四街道市一般会計補正予算(第4号)(可決)

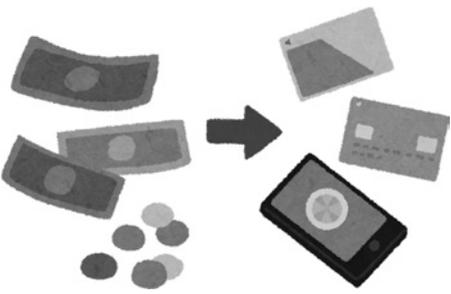
〈都市環境常任委員会所管事項〉

**質** 宅配ボックス購入支援事業補助金は、戸建て住宅を想定していると思われるが、アパート、マンションなどに住んでいる方に対しては、どのように対応するのか。

**答** アパート、マンションなどに住んでいる方については、大家や管理会社から設置の同意を得られた方から申請があれば、その方を補助の対象とする。

**質** キャッシュレス決済普及促進事業では、PayPayを決済手段とするとのことだが、PayPayのみを決済の対象とした経緯は。

**答** 補正予算を作成した時点では、この事業はPayPayしか行っておらず、全国的に見ても、市町村と契約しているのは、PayPayのみであるためである。



**質** ごみ処理施設周辺対策事業の用地購入費666万4千円の積算根拠と、移転補償費207万6千円について説明を。

**答** 吉岡4号線について、当初予算では3名の地権者からの用地購入を予定していたが、購入が可能な地権者が5名に増え、合計の面積が約1800㎡となった。

また、移転補償として樹木約30本を予定している。

**質** 交通安全施設整備工事1067万円には、カーブミラーの設置工事が含まれているとのことだが、何基を設置する予定か。

また、映りが悪くなっているところも数多く見られるが、それらの修繕についてはどうか。

**答** カーブミラーの更新は、5カ所を予定している。このうち2カ所は、映りが悪くなったものの鏡面の交換である。

議案第11号 令和2年度四街道市水道事業会計補正予算(第1号)(可決)

補正の内容は、収益的収支において、収入では13万8千円、支出では10万4千円、資

本的収支において、収入では225万5千円、支出では225万5千円、それぞれ増額するものである。

また、債務負担行為について、水質検査業務委託ほか4件を追加するものである。

**質** 新型コロナウイルス対策で、手洗いの自動水栓とサーマルカメラを設置することだが、それぞれの設置台数と設置場所は。

**答** 自動水栓は、企業庁舎内トイレの11カ所の水栓に設置を予定している。

また、サーマルカメラは、企業庁舎1階の窓口カウンター3カ所に1台ずつ、計3台設置したいと考えている。



四街道市企業庁舎

# 教育民生

**議案第3号 四街道市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について（可決）**

**【提案理由】** 本案は、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した第1号被保険者等に係る介護保険料の減免について、申請期限の特例を定めるため提案するものである。

**【質】** 現時点における介護保険料の減免について、昨年度と比較するどのような状況か。

**【答】** 現時点で窓口相談が2件、電話相談が1件、合計3件の相談があった。

また、昨年度の実績としては、台風の関係で3件あった。

**議案第4号 四街道市ひとり親家庭等医療費等助成条例の一部を改正する条例の制定について（可決）**

**【提案理由】** 本案は、千葉県ひとり親家庭等医療費等助成事業補助金交付要綱等の一部改正に伴

い、医療費等の助成方法を変更するため、他所の規定の整備を行うため提案するものである。

**【質】** 四街道市ひとり親家庭等医療費等助成条例の一部を改正する条例の改正内容について詳細な説明を。

**【答】** 千葉県ひとり親家庭等医療費等助成事業補助金交付要綱等の一部改正に伴い改正するもので、主な内容は本年11月診療分から、ひとり親家庭等に対する医療費について、自己負担額の変更及び助成方法を、現在の償還払いによる助成から、受給券を発行する現物給付による助成に変更するものである。



**議案第6号 四街道市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について（可決）**

**【提案理由】** 本案は、地方税法施行令等の一部改正に伴い、基礎課税額及び介護納付金課税額の限度額等に関する規定の整備を行うため提案するものである。

**【質】** 基礎課税額の限度額を61万円から63万円、介護納付金課税額の限度額を16万円から17万円に改正することだが、引き上げによる影響を受ける世帯数は。

**【答】** 対象世帯を令和2年度の本算定時において試算したところ、世帯数は227世帯になった。なお、割合としては、国保加入世帯の1.7%に当たる。

**議案第7号 令和2年度四街道市一般会計補正予算（第4号）（可決）**



## 〈教育民生常任委員会所管事項〉

**【質】** 電子書籍の選定について、普段は図書館に行かない中高生等でも電子図書であれば読むという可能性も考えられるが、そのような対象者にも配慮した選定となるのか。

**【答】** 電子図書館サービスの導入に当たり、図書館を普段利用しない世代や中高生等が好むコンテンツを揃えることで、現在の利用状況において弱いところを補っていききたいと考えている。



四街道市立図書館

**【質】** 高校生家庭等給付金200万円について、40世帯分を予定しているとのことだが、対象者への周知方法は。

**【答】** 対象者を把握することが困難なことから、市のホームページ

じや市政だより等によって周知を行う。

**質** 住居確保給付金や生活保護の申請状況等について、今年度において何か変化はあったのか。

**答** 住居確保給付金について、新型コロナウイルス感染症の影響により相談及び申請件数が非常に増えており、5月補正の増額でも予算が足りなかったため、今回更に追加補正をした。

また、生活保護の申請状況等については、新型コロナウイルス感染症の影響による申請がかなり増えている状況である。



議案第8号 令和2年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(可決)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ

れ16万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ87億2546万5千円とするものである。

**質** 債務負担行為については、レポート等点検委託ほか3件を追加するものである。

**質** 国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金について、社会保障・税番号制度システム整備費補助金へ名称が変更されることだが、補助金の内容に変更はあるのか。

**答** 国の補助要綱の変更に伴い予算科目を更正するもので、補助金の内容に変更はない。

議案第9号 令和2年度四街道市介護保険特別会計補正予算(第2号)(可決)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億4060万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ66億8900万5千円とするものである。

**質** 介護保険保険者努力支援交付金について、概略の説明を。

**答** 本年から新設された交付金で、市町村が実施する介護予防や健康づくりに資する取り組みに対して国が財政的な支援を行うというものである。  
主な内容としては、高齢者の自立支援、重度化防止等に対する施策の推進等が交付対象となっている。



議案第18号 財産の取得について(可決)

**【提案理由】** 本案は、教育ネットワーク基盤整備事業における、GIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末を整備するため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により提案するものである。

**質** 市内小中学校の児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備することだが、1台あたりの金額は。

**答** 画面保護フィルム等を加えた他、ソフトウェアライセンスとして、ウェブフィルタリングソフト、オフィスソフト、学習支援ソフトの費用を加えると総額は1台あたり5万円程度である。

**質** 納入期限が令和2年12月28日までとなっているが、タブレット端末の使用開始の時期は。

**答** 使用を開始するにあたり必要な設定作業等を行った後、小学校6年生及び中学校3年生の整備をかわきりに、令和3年3月末までに市内全小中学校へ順次導入する予定である。



## 市民からの四街道市議会議員に対する告発内容に関する調査特別委員会

## 中間報告

本委員会は、指定暴力団住吉会の稲毛三代目を名乗る市民が提出した現職市議会議員の稲毛三代目襲名披露宴出席写真ほか吉岡残土超過関連疑惑についての告發文書を調査するため、地方自治法第100条及び同法第98条の権限を持つ特別委員会として設置されました。

本委員会は、9月25日まで6回の委員会を開催し、そのうちの7月8日には告発者の証人尋問を、8月18日には現職市議会議員である山本裕嗣議員の証人尋問を行い、お二人の証言から次の事実が判明しましたので9月定例会の最終日に中間報告を行いました。

### 1 山本議員と暴力団その他の反社会勢力との関わり

- ① 山本議員が、告発者と共に写った指定暴力団住吉会の稲毛三代目襲名披露宴や中国大連市内北朝鮮料理店の写真が事実であること。
- ② 山本議員は、告発者と平成11年以降、反社会勢力の忘年会やゴルフなど様々な交際があったこと。
- ③ 山本議員が、告発者のもとで行われた賭けマージャンに度々参加していたこと。
- ④ 山本議員は、「結果的に」と述べていますが、山本議員が告発者に依頼し告発者配下の暴力団組員と市内事業所建設反対運動を行ったこと。

### 2 山本議員と（吉岡の）次期ごみ処理施設用地への汚染及び過剰な残土埋立てに関する関与や市が提訴している(有)大谷総合都市計画事務所や(有)建設機構との関わり

- ① 山本議員は、(有)大谷総合都市計画事務所や(有)建設機構とは昔から付き合いがあり、(有)大谷総合都市計画事務所に入出入りし、平成12年の指定暴力団住吉会の稲毛三代目襲名披露宴には3人で一緒に出席したこと。
- ② 次期ごみ処理施設用地への汚染及び過剰な残土埋立てに関して、山本議員は、(有)大谷総合都市計画事務所が残土を入れた等、残土埋立ての内容や経緯をご自身が「わかっていると言えばわかっている」人物であることを認め、「入れないほうがいいよ」「1メートル以上になってしまったから、ちょっと問題だよ」と意見を関係者に伝えたことと証言していることから、残土埋立てに関して内容や経緯、関わりある人物や事業者などを把握している人物であること。

### 3 二人の証人尋問で得られた証言内容が一致しなかったもの

- ① 山本議員自身の残土搬入や土壌汚染への直接的な関与及び顧問契約事業者を通じての関与について（山本議員は完全否定）
- ② (有)大谷総合都市計画事務所などの事業者との癒着<sup>ゆちゃく</sup>や残土搬入代金前渡し金の分配について（山本議員は完全否定）

調査すべき点は多く残っておりますが、可能な限り早期に事実関係が明らかになるよう、引き続き委員会として取り組んでまいりたいと考えております。

（委員長 阿部 百合子記）

## 令和2年第3回(9月) 定例会 議決結果一覧

※議長(森本次郎)は、採決には加わりません。

○：賛成 ×：反対

番号	議案名	結果	久保田敬次郎	本田良	阿部百合子	田中徳彦	坂本弘毅	成田芳律	栗原直也	大越登美子	保坂康平	西塚義尊	関根登志夫	戸田由紀子	石山健作	広瀬義積	山本裕嗣	※森本次郎	高橋絹子	岡田哲明	長谷川清和	清宮一義	
議案第1号	四街道市生産緑地地区の区域の規模に関する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第2号	四街道市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第3号	四街道市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第4号	四街道市ひとり親家庭等医療費等助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第5号	四街道市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第6号	四街道市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成多数)	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○
議案第7号	令和2年度四街道市一般会計補正予算(第4号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第8号	令和2年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第9号	令和2年度四街道市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第10号	令和2年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第11号	令和2年度四街道市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第12号	令和元年度四街道市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○
議案第13号	令和元年度四街道市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第14号	令和元年度四街道市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第15号	令和元年度四街道市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第16号	令和元年度四街道市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第17号	令和元年度四街道市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第18号	財産の取得について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第19号	教育委員会委員の任命について	同意(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第20号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第21号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
発議案第4号	核兵器禁止条約に署名・批准するよう求める意見書の提出について	否決(賛成少数)	○	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	○		×	×	×	×	×	×
請願第3号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
請願第4号	「国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○

## 代表質問・一般質問

第3回定例会では、9月9日から11日までと14日から16日までの6日間、2会派による会派代表質問及び議員10名による一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。(11ページ～15ページ)

詳しくは、市立図書館、市役所本館2階の情報公開室に設置の会議録、または市議会ホームページの会議録検索(第3回定例会分は11月下旬公開予定)でご覧いただけます。

各議員が行った質問については、紙面の都合により、一部のみを掲載しました。

(◎は代表質問者)

市議会ホームページアドレス <https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/>



市民生活の向上のために

「四街道」

◎清宮一義 成田芳律 戸田由紀子

石山健作 長谷川清和

**問** 不登校児童生徒への支援につき、学校復帰を前提とせず、自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目指すこととなった。そこで、不登校児童生徒への支援体制の充実について伺う。

**答** 市教育委員会は、学校外の公的機関や民間施設において相談・指導を受けた場合、または、自宅においてICT等を活用した学習活動を行った場合等、指導要録上の出欠の取り扱いについて目安を策定し、市内小中学校へ通知した。各学校は、不登校児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目指すことができるよう、引き続き、市教育委員会と連携し、支援体制を整えていく。

**問** 介護・障害施設で新型コロナウイルスの集団感染が発生した場合、防護服や消毒剤等、必要な支援を行うべきと考えるがいかがか伺う。

**答** 市内の福祉施設で新型コロナウイルスの集団感染が発生した際は、国の通知等に基づき、保健所等と連携をとり、市としてできる対策・対応をするものである。

**問** 修学旅行が中止となったが、その経緯と今後の行事についてどのように考えているか伺う。

**答** 修学旅行については、市教育委員会と校長会で協議の上、子どもの健康安全を一番に考慮し中止とした。今後の行事について、市教育委員会は、感染症予防対策を十分とり、子どもたちが満足して学校生活を過ごすことができるような行事を実施するよう各学校に指導、助言している。

**問** 千代田団地において日常の足の確保を目指し、新たな公共交通の実証実験が始まったが、メリットと車種の選定理由を伺う。

**答** 電動小型低速車両のメリットとしては、電動でありCO<sub>2</sub>の排出量が少ないこと、ゆっくり走行し、安全なこと、普通自動車運転免許で運転ができること、小型なため狭い道でも通行が可能なこと、窓がなく開放感があるため3密状態を避けることができることなどがある。

車両の選定理由については、今回の事業では、公共交通を補完するため、バス停までの移動などを主目的としている。狭い道路が多い住宅地を運行するには、環境にやさしい電動小型低速車両が適していると考えたものである。





スマートシティ四街道  
(街のスマホ化について)

「志誠会」

◎ 関根登志夫 岡田哲明

**問** 市内スマートフォンの普及率と、普及率向上に向けた施策及び活用促進の促進施策はあるか。

**答** 令和元年9月末時点、国内の全世帯に対するスマートフォン保有割合は83・4%、全人口における個人の保有割合は67・6%となつている。普及率向上に向けた施策としては、キャッシュレス決済サービスで買い物に使えるポイントが付与されるマイナポイント制度を全国で展開している。また、アプリ、ツイッター、フェイスブックなどSNSを用いて、便利な情報や災害情報などを提供することで活用の促進に取り組んでいる。

**問** マイナポイントの概略と予約状況・世帯別予約状況について。

**答** マイナポイントとは、マイナンバーカードを取得した上で手続きを行い、キャッシュレス決済サービスでチャージまたは買い物をするポイントをもらうことができる事業で、個人消費の下支え、マイナンバーカードの普及、キャッシュレス決済の拡大を目的としている。8月末現在までに市役所でマイナポイントの予約を完了された方が407人。30代未満が35人、30代から50代が92人、60代が77人、70代以上が158人となっている。

**問** 防災行政無線と、よめる各種ソーシャルネットワークサービスとの連携状況について。

**答** 現在、防災行政無線を補完するものとしては、よめるの配信、防災行政無線情報提供サービス、ホームページ、ケーブルテレビ及びSNSの活用など、多様なメディアを通じて各種情報を広く市民に提供している。特に、SNSについては、被害情報の把握や救助・支援につながると考えていることから、市民の皆様には、自助の一環として、スマートフォン保有と活用をお願いしている。

**問** グリーンスマートフォンについて、本市の今後の導入への取り組みについて。

**答** 国土交通省の令和2年度の実証調査支援事業に応募した全国20地域の中から6地域が採択され、その1つに本市が選ばれたことから、11月から、千代田地区において、グリーンスマートフォンの実証実験を実施する。

現在、千代田地区各自治会の代表等で構成された検討会において、実証実験に関する運行方法及び管理方法等について協議を行っているところである。



住み良い住環境に向けて  
坂本 弘毅

**問** グリーンスマートフォン導入に向けて千代田自治会と協議を重ねてきたとのことだが、千代田以外の周辺各自治会への協議はどのように行っていくのか。

**答** まずは、千代田各自治会でルートを決める話し合いを行い、その後、関係する他自治会との協議が必要になる場合があると考えている。

**問** 成台中土地区画整理事業地内に進出予定のイオンの進出に向けて進捗状況はどうなっているか。

**答** 複合産業地区に進出を予定しているイオンについては、本年7月に調整会議を開催し情報交換を行っているが、現在のところ確定されたプランは示されていない状況である。

**問** 本市の待機児童数は増加傾向にあり、歯止めがかからない状況だが、保育所整備事業の現況と課題はどうなっているか。

**答** 5月及び7月に事業者の公募を行い、60名定員の認可保育所3カ所と、19名定員の小規模保育事業2カ所の設置・運営事業予定者を選定し、進捗管理を行っている。

**問** 小中学校施設開放事業だが感染症対策を各団体に徹底して頂くことを条件に、早期に開放する考えはあるか。

**答** 説明会では徹底した消毒作業をお願いしているが、不特定多数の方の出入りは感染リスクが高まると考えている。引き続き学校活動等を考慮しながら事業再開を目指していく。



市独自の不妊治療助成を

高橋 絹子

**問** コロナ禍における妊産婦支援の状況と、産院から退院後の産後ケアの取り組みはどのようにしているのか。

**答** 妊娠届出時の全数面接から状況を把握し、個別の支援プランを作成して相談対応を行っている。出産後は乳児家庭全戸訪問事業や、より手厚い専門的支援が必要な方には、訪問型の産後ケア事業等で個々の状況に応じた切れ目ない支援を行っている。また、新型コロナウイルス感染症による経済的支援として妊産婦等給付金事業を実施した。

**問** 今年前半の出産数は、過去最低との報道があったが、今年の妊娠届出の状況は例年と比べてどうか。

**答** 本年度4月から7月までの届出数は214件で過去2年間とほぼ変わらない状況である。

**問** 本市の不妊治療助成の対象者数と、その推移は。また、県に上乘せして市独自で行っている市町村の状況と本市の取り組みは何か。

**答** 昨年度の助成件数は100件で年度により増減している。市独自で助成事業を行っている県内市町村は、政令市、中核市を除き31市町である。市としては、県の制度など必要な情報提供を行うとともに、市の役割である妊娠期からの切れ目ない支援、産後早期からの支援に注力し、子育て支援の充実に取り組んでいる。



長引くコロナ  
第3波を前にして

阿部 百合子

**問** 病院、介護施設、高齢者住宅、幼稚園、保育所、学童ルーム、小中高校で働く人全員とその利用者や生徒も、定期的にPCR検査を無料で受けられるよう市で実施する考えはあるか。

**答** 有症状者の対応に十分な余裕がない現状で、多人数の無症状者の検査を幅広く公に実施することは現実的に困難であると考える。

**問** 感染が発生した店舗、職場だけでなく、その地域の住民を対象にPCR検査を無料で実施する考えはあるか。

**答** 感染拡大防止上、必要がある場合には、関係者を幅広く検査することも行政検査として可能であるが、その判断は保健所が行い、市も必要な協力をする。

**問** 今でさえ学校職場は、長時間労働の職場。そこにコロナ対策の指導が入り、子どもも教員も疲弊している。教員へのフォローですぐに実施できそうな手立ての考えはないか。

**答** 学習支援を行う「学習サポーター」とともに、学校業務の軽減のために「スクールサポータースタッフ」の配置をしている。

**問** 学童保育・子どもルーム支援員の雇止め事案は、なぜ解決が長引いているのか。

**答** 双方の申し立てに相違があり、調整がつかなかったため、双方が弁護士を立て、話し合いが行われていることから、解決に時間を要しているものと認識している。



住みよい街を目指して

本田 良

**問** 昨年の台風の時、南房総市では、電力トリアージが機能せず、なかなか電源車が病院に配置されなかったと聞いている。当市では、電力トリアージの対応マニュアルは作成されているか。

**答** 現在、停電の原因となる倒木への対応、リエゾンの派遣、復旧の促進と状況に応じた電源車の優先配置等について、東京電力と協定の締結に向けた協議を進めている。

**問** 避難所では、女性の立場での意見や要望を運営にいかすため、話し合いへ参加できるようにしているか。

**答** 避難所運営に関して性別で役割の設定はしていないが、女性の意見・要望は必要と考えるので、女性にも運営に参加いただきたい。

**問** 物井駅東口への道路は、通勤・通学・送迎に毎日使う道路である。道幅や路肩の整備をする予定はあるか。

**答** JR沿いの「市道物井27号線」は、物井駅東口アクセス道路のルートの再検討を行う上での1つの候補として、考えているところである。

**問** 鷹の台団地は、図書館も公民館もなく、団地の公共用地に災害時の避難所等になる、市民が集える場所を作る予定はないか伺う。

**答** 鷹の台の公共用地に対する市民が集える場所の整備について、四街道市総合計画後期基本計画への位置付けはない。



四街道市の環境対策、  
防災対策について  
田中 徳彦

**問** 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明について、現状の取り組み状況について伺う。

**答** 宅配ボックス購入支援、グリーンズローモビリティ事業、住宅用省エネルギー設備等補助の、窓の断熱改修の追加などの実施により、二酸化炭素等の排出抑制に取り組んでいく。

**問** コロナ禍における災害避難時の対応について伺う。

**答** コロナ禍における発災では、避難所におけるウイルス感染が懸念されるため、防止策として非接触型体温計、マスク、消毒液やゴミ手袋等の備蓄品の追加配備を進めている。

**問** 公園樹木、街路樹の管理について、ここ数年の気象状況を見ても災害時には公園樹木や街路樹が倒木する傾向が見られる。市民の憩いの空間や安心して遊べる場所、災害時の一時避難場所としての公園であるが、現状の公園樹木の管理方法、街路樹の管理方法を伺う。

**答** 公園樹木、街路樹の管理については、定期的な剪定を行っており、自治会からの要望には、現地確認のうえ対応しているところである。

**問** ゲリラ豪雨時の冠水場所について、道路冠水箇所とその対応状況について伺う。

**答** 冠水の主な場所は鹿放ヶ丘遠近五差路付近外5箇所であり、対応は警察等と連携を図り迅速に通行止め等安全措施を講じている。



「明日がある」  
久保田 敬次郎

**問** 建設機構役員は佐渡市長2期目の市長選挙（平成26年）に元職員経由で800万円を献金したのは間違いはないか。

**答** 私は、そのようなものは受け取っていない。

**問** 大谷総合と、元職員、市長、市役所上級職員は古くからの癒着があったと聞いているが。

**答** 私としては、まったく存じていない。また、800万円の献金も受け取っていないので、私自身の癒着についても、身に覚えはない。

**問** 市長は、なぜ「適用除外」に捺印したのか。

**答** 窪地解消工事については、次期ごみ処理施設等用地が含まれるため、公共事業として位置付け、残土条例に基づき、市長が決裁をしたものである。

**問** 「コロナ」における会館使用料の減免の件について、文化センターの会場費及び付帯設備使用料の減免を考へるはあるか。

**答** 施設の利用人数などの制限による影響が大きい文化センター大ホール利用者に限り、9月中のホール及び付帯設備の使用料を減免する。



疑惑の適用除外、杜撰な  
公共工事、議会で証明を  
大越 登美子

**問** こどもルーム雇止め事案の件で、「先生方が安心して働ける環境を提供できると約束ができるか」市長に伺う。

**答** 市は社会福祉協議会と色々な委託契約を結んでいるが、従業員が長く安心して働ける環境整備については、きちんとお願いをしているところである。

**問** 大谷総合が、施工計画書は工事後に作成、市からの指示と主張するが、これまでの議会への説明がひっくりかえる話だ。施工計画書と同日で作成されたことになっている適用除外届出書ファイルが市のパソコンに残っているはずだ、議会で証明を。

**答** 適用除外の起案等は残っているはずだが、施工計画書は業者からの提出なので、調査はするが、残っていないと思われる。

**問** 特定事業許可適用除外届出書は誰がいつ業者に通知したのか、2月15日に同日に着工している、どうなっているのか伺う。

**答** 適用除外は平成28年2月15日付けで行っており、それ以前に業者には口頭等で連絡していたものと考えている。

**問** 公共工事とするならばなぜ工事発注をしなかったか。

**答** 土地交換契約書において、「窪地を解消するための造成を行うものとする」となっており、問題はないと考えたものである。



こどもの虐待の  
ない社会へ  
西塚 義尊

**問** 児童虐待の相談に関しては、児童相談所との連携が重要になってくるが、当市では具体的にどのような行っているか伺う。

**答** 市へ児童虐待通告があった場合、子育て支援課を中心に、関係機関と連携を図りながら支援を進めているところであるが、一時保護を必要とするほど危険な場合等、児童を守る対応が困難な場合には、児童相談所へ送致を行うなど、必要な体制を整えている。

**問** 虐待がある、あるいは虐待があると思われる児童が他地域へ転出する際に、市として転出先の自治体に行っている措置は。

**答** 対象家庭に転出先市町村の連絡を拒むことがないよう伝えたいので、転出先市町村へ情報提供を行い、移管文書を発送している。

**問** マタニティ・ベビー相談室に虐待についての相談があった場合の対応は。

**答** 複数の担当者で支援方針などを検討し、安全な出産に向けた相談や支援を行いながら、必要時は担当課へ通告し、要保護児童対策地域協議会で管理するなど児童相談所をはじめ関係部署と連携して対応している。

**問** 「子ども家庭総合支援拠点」の整備について、2022年度末までに展開する目標と

**答** 国が示す配置人員を整備したうえで、2021年4月より子ども家庭総合支援拠点が始動できるよう準備を進めている。



市と埋立業者との  
癒着を問う  
栗原 直也

**問** 埋立業者との癒着が疑われる元市職員を、部の主幹という要職で再任用した理由を問う。

**答** 佐倉市、酒々井町清掃組合への加入及び次期ごみ処理施設建設の関係等で交渉業務を担当する職員として、相応の職位が必要であるため、特例として任命したものである。

**問** 埋立業者の関与する工事に行政財産の使用を許可したが、市が便宜を図ったと疑われる事への市長の考えを問う。

**答** どのような事実をもとに、市が便宜を図ったと断定されているのかわからないが、そのような事実は存じていない。

**問** 埋立業者と元市職員との20年を超える関係が、市と業者との癒着をもたらしたと考えるが、市長の考えを問う。

**答** 百条委員会の中で、どういう具体的な癒着があるのか、これについても明らかにされると考えている。現時点では、ご指摘の癒着については存じていない。

**問** 鹿渡南部土地区画整理組合が埋立業者を業務上横領罪で告訴したが、この業者を組合に熱心に働きかけた市の責任は重いが、いかが考えるか。

**答** 紹介したのが市であったにしても、これを議決して決定したのは組合であり、当然ながら事務代行を監督する立場でもある。市は組合に都度適切な事業運営を促してきた。



次期ごみ処理施設用地への  
汚染土搬入問題を質す  
広瀬 義積

**問** 次期ごみ処理用地に搬入された過剰な土砂搬出費約21億円。土壌汚染処理費など、巨額損害となる。差押えの財産は、汚染された土地も含む。裁判費用の補償も無理なのは。

**答** 次期ごみ処理施設等用地は国道51号線に隣接しているため、価値については、社会情勢等を見守る必要がある。

**問** 裁判は、時間がかかる。老朽化した現クリーンセンターの維持費や汚染土の搬出経費の肩代わりも必要。どうするのか。

**答** 裁判の結果に従ってもらうことと、いち早く施設を建設する必要があるため、先行して、予算を市議会に認めてもらう必要もあると考えている。

**問** 横領や不正経理が問題となっている業者や栗山の汚染残土埋立てに関わった業者が、「公共工事」を担っていた。この事態を予見できなかったのか。

**答** 建設機構が窪地解消工事に加わっていることや、大谷総合都市計画事務所、鹿渡南部土地区画整理事業の公金横領については、承知してなく、予見はできなかった。

**問** 条例「適用除外」の結果、産業廃棄物が持ち込まれ、悪性の高いフッ素化合物が検出された。事実を認め反省しないのか。

**答** 政治家としては、結果責任が問われると思うので、汚染残土や過剰土砂が搬入されたことについては、深く責任を感じている。

## 委員会視察レポート

### 都市環境常任委員会

日程 令和2年7月9日  
視察先

- ・鹿渡南部特定土地区画整理事業地
  - ・成台中土地区画整理事業地
  - ・次期ごみ処理施設建設用地
- 視察内容

都市環境常任委員会所管事項として、最も重要である3事業について執行部出席のもと視察を行いました。

初めに、鹿渡南部特定土地区画整理事業について整備済み箇所と未整備箇所の現況や都市計画道路3・4・7号南波佐間内黒田線の事業地区南側から旭ヶ丘団地方向に伸びる地区外部分の現在の用地買収の進捗について説明を受け、委員からも質問がありました。現在の用地買収率は33・22%です。次に成台中土地区画整理事業地へ行き、進捗状況について説明を受け、流通産業地区における進出企業の建設状況を視察しました。現在着工中である住友重機械建機クレーン(株)の車両整備工場は本年10月に竣工予定とのことでした。また流通産業地区の中心に大

型物流センターを建設予定の大和ハウス工業(株)については令和4年2月の竣工に向けて工事準備中であり、現場では管理棟設営等の現況を確認しました。住宅地区においても造成は概ね完了しており、計画人口は600人であるとのことでした。

最後に次期ごみ処理施設建設用地へ行き執行部から現在の進捗状況の説明を受け、用地内を歩いて視察しました。この用地からは基準値を超過したフッ素及びその化合物、水素イオン濃度が検出され、現在は深度調査と地下水モニタリング調査を実施中です。また市は現在、関連事業を請け負った4社を相手に裁判を行ってまいります。今後も委員会として市の重要課題である各事業を注視してまいります。

(委員長 坂本 弘毅記)



成台中土地区画整理事業地にて

## 編集後記

### 令和2年度の議会報告会について

例年、市民の皆さまからご意見を伺う場として、議会報告会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、また、感染拡大防止の観点から中止することとしました。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 12月定例会 会期日程案のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23 勤労感謝の日	24 本会議 開会	25	26	27 本会議 議案審議(質疑) 委員会付託	28
29	30	12/1 都市環境 常任委員会	2 教育民生 常任委員会	3 総務 常任委員会	4 本会議 一般質問	5
6	7 本会議	8 本会議	9 本会議 一般質問	10 本会議	11 本会議	12
13	14 本会議 一般質問	15	16	17 本会議 閉会 議案 総長 審議 委員 報告 採決	18	19

本会議の開会は午後1時(予定)です。傍聴は、開会30分前から受付をしています。  
※会期日程等は、新型コロナウイルスの影響で変更になる場合がありますので、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。  
Tel 043-421-6152(直)

令和2年9月議会では、主に新型コロナウイルス対応や、次期ごみ処理施設建設用地埋立工事に関して、埋立工事を行った業者と元市職員とのお金の問題、市と業者間の裁判の問題が取り上げられました。議会で、朝日新聞や千葉日報の記事になり、

皆さまの関心の高さを思い知りました。今後も市民のため、議会としてのチェック機能をしっかり果たしていきたいと思えます。

「議会だよりよつかいどう」は今号で、200号の節目を迎えました。今後も、わかりやすく開かれた議会を目指し、紙面づくりに取り組んでまいります。

(久保田 敬次郎記)